

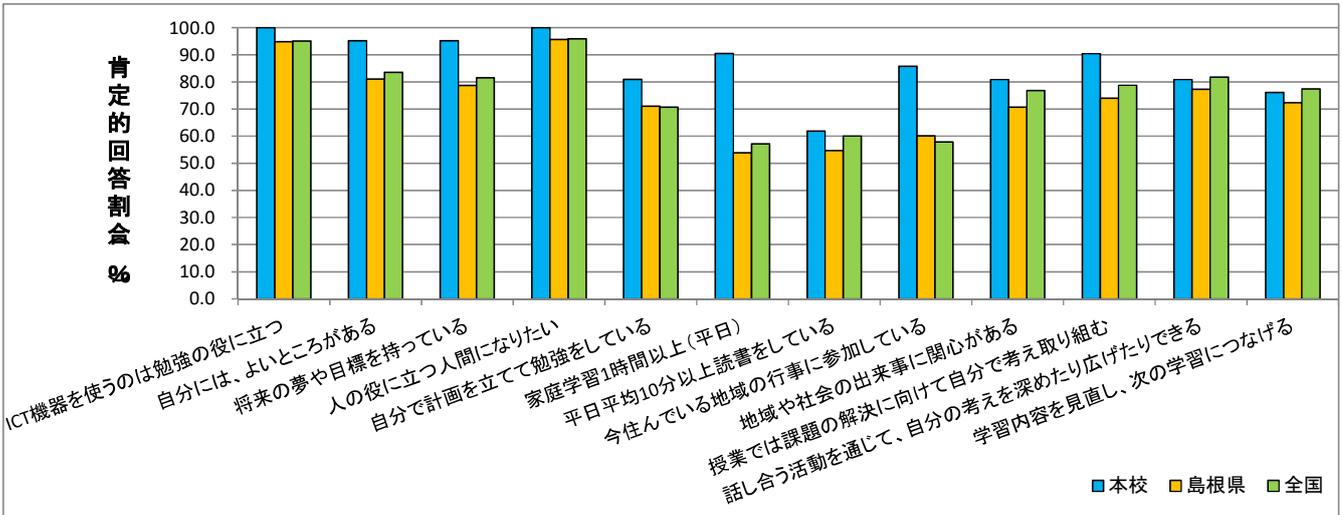
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○漢字の読み書きや言葉などの知識・技能は正答率が高い。基礎的な力をきちんと積み上げている。 ●敬語(謙譲語)の使い方に慣れていない。 ●条件を理解し、その条件に合う内容で自分の考えを書くことが難しい。 ●情報と情報の関係を理解し、整理することに課題がある。文章の要旨を適切に捉える力が必要である。	・教員や地域の方と話す際の会話や言葉遣い等に耳を傾け、指導をする。 ・問題文をよく読んで内容を把握する力をつける。 ・自分で書いた文章を自分で見直し推敲する習慣をつける。 ・定期的な日記等で文章記述への抵抗感はなく、書くことに対して慣れているため、書く機会を与えることを継続しながら、条件付き作文の練習に取り組ませる。
算数	○基礎的な内容は理解している。 ○単純な計算問題や公式に当てはめた計算は正しくできる。 ●発展的な内容は、理解が難しい。 ●問題文を読んで理解するのが難しく、内容が複雑になるとあきらめて白紙のまま解答する児童がいる。	・問題文をよく読んで、読み取った情報を整理したり数学的に考えたりすることができるよう、言語活動の場を増やす。

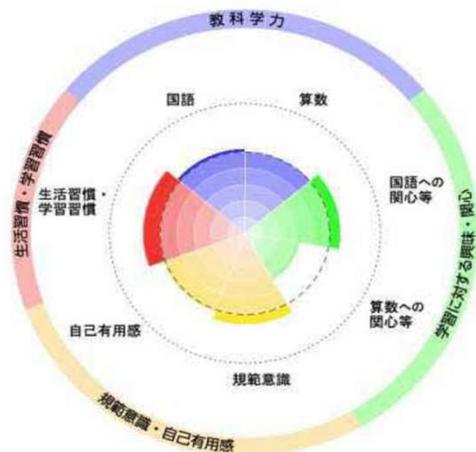
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○「自己肯定感」を問われる設問には多くの児童が高い指標を示している。昨年度の県学テとの乖離が見られる。 ○「読書週間」を問われる設問には多くの児童が高い指標を示している。昨年度の県学テとの乖離が見られる。 ○「地域行事」を問われる設問には多くの児童が高い指標を示している。 ●「算数の勉強は好きですか」の設問に対し、多くの児童が否定的である。しかしながら、毎月行われている「計算会」や今回の全国学テの結果、算数の必要性については高い指標を示している。	・スキルタイム等を活用し、普段の授業では取り扱わないような問題に触れる時間を確保していく。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・問題文をよく読んで内容を把握する力をつける。

【受検者数】

21 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。